

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

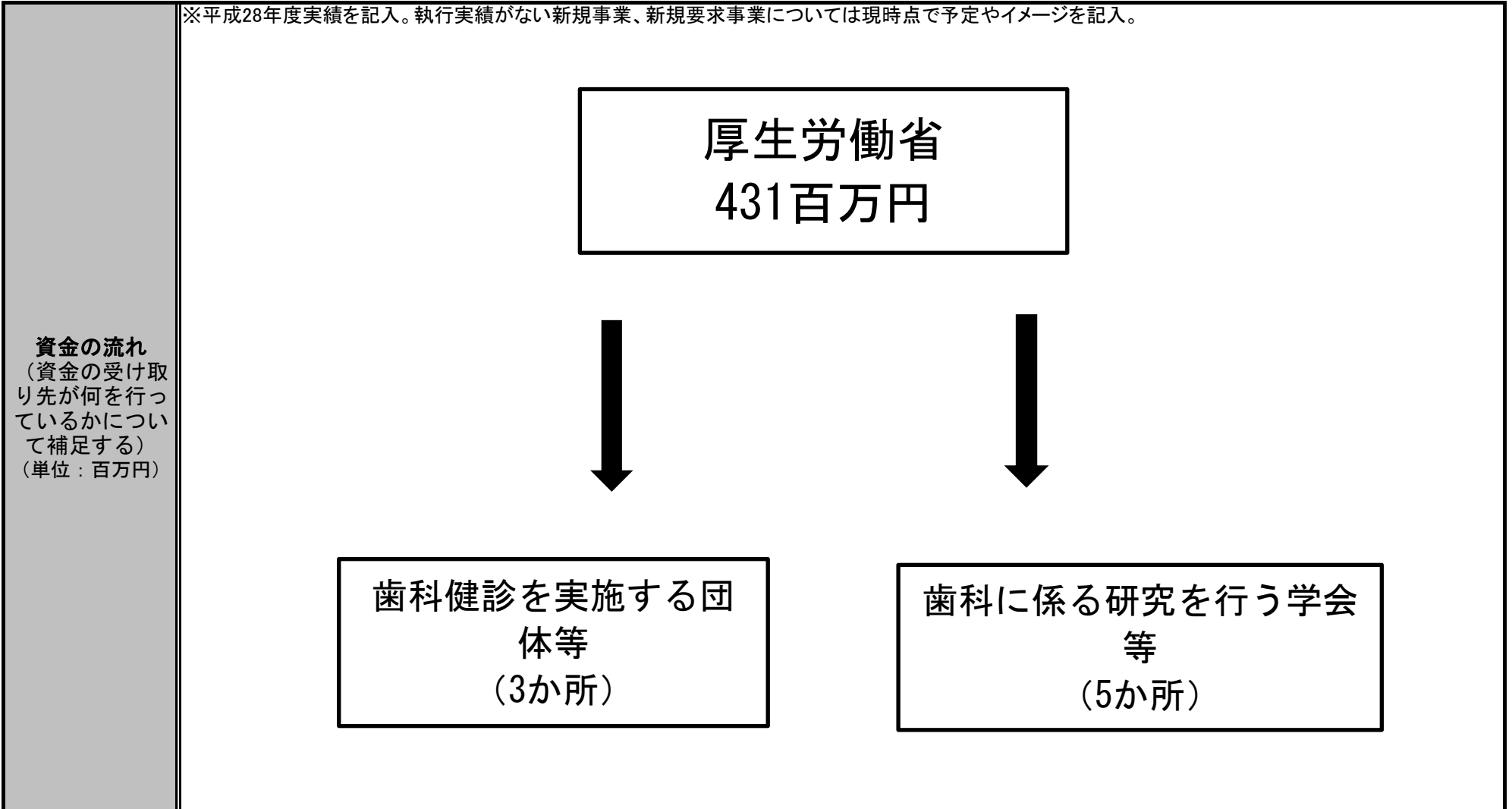
事業名	歯科健康診査推進等事業			担当部局庁	医政局			作成責任者			
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課			課長：田口 円裕			
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、口腔と全身との関わりが注目されるなど、健康寿命の延伸を図る上で、口腔の健康の保持・増進を図ることが重要となっている。特に、口腔の健康の保持・増進を図るために、国民が定期的に歯科健診を受診することが極めて重要である。また、平成28年歯科疾患実態調査においては、歯周病の罹患率の結果に改善が見られないと報告されている。これらを踏まえ、全国的に効果的かつ効率的な歯科健診の実施等を検討していくため、健診に係る調査・検証を行う。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)歯科健康診査推進事業 ①健診の受診率向上に資する取組：従来の歯科健診に、一定のサービスを付与する等 ②健診の効率化に資する取組：歯科医師が実施する以外の手法で、重症者を予めスクリーニングする等 ③健診の導入促進に資する取組：健診受診による医療費への影響等を分析するなど、医療費に対する費用対効果のフォローアップ等 (2)検査方法等実証事業：口腔機能低下の予防に資するスクリーニング方法、客観的検査手法又は治療技術等の開発・検証										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額(単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	431				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	0	431				
	執行額		0	0	0						
執行率(%)		-	-	-							
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-							
平成29・30年度予算内訳(単位：百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	保健福祉調査委託費		0	431	「新しい日本のための優先課題推進枠」431						
	計		-	431							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	
	-		-		成果実績	%	-	-	-	-	
	-		-		目標値	%	-	-	-	-	
	-		-		達成度	%	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-										
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標				事業の進捗状況等に係る報告を求める。						
	本事業は、複数年にわたる歯科健診に係る調査・検証であり、それにより得られた結果を自治体等における歯科健診に反映させること等を目的としており、調査・検証等の事業自体が直接何らかの結果が出るものではないことから、定量的な目標設定にじまないため。										
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績		代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	
報告書数		報告書数		実績	冊	-	-	-	-		
				目標値	冊	-	-	-	精査中		
				達成度	%	-	-	-	-		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込					
	活動実績	当初見込み											
当該事業における歯科健診受診者数	活動実績		人	-	-	-	-	-					
	当初見込み		人	-	-	-	-	精査中					
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込						
	X/Y	単位当たりコスト							千円	-	-	-	-
Y:事業実施か所数(健診の受診率向上に資する取組)	x:執行額	計算式	X/Y	-	-	-	-						
	Y:事業実施か所数(健診の受診率向上に資する取組)		X/Y	-	-	-	-						
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込						
	X/Y	単位当たりコスト							千円	-	-	-	-
Y:事業実施か所数(健診の効率化に資する取組)	x:執行額	計算式	X/Y	-	-	-	-						
	Y:事業実施か所数(健診の効率化に資する取組)		X/Y	-	-	-	-						
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込						
	X/Y	単位当たりコスト							千円	-	-	-	-
Y:事業実施か所数(健診の導入促進に資する取組)	x:執行額	計算式	X/Y	-	-	-	-						
	Y:事業実施か所数(健診の導入促進に資する取組)		X/Y	-	-	-	-						
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込						
	X/Y	単位当たりコスト							千円	-	-	-	-
Y:事業実施か所数(検査方法等実証事業)	x:執行額	計算式	X/Y	-	-	-	-						
	Y:事業実施か所数(検査方法等実証事業)		X/Y	-	-	-	-						
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること											
		施策	施策名: I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標年度 年度				
		実績値	-							-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-				
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)								
					-								
					施策の進捗状況(実績)								
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	本事業の実施で得られた結果により、自治体等における歯科健診の受診率向上や導入促進など、全国的に効果的・効率的な健診の実施推進につながる。												
改革項目	分野:	-	-										
	KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度				
		成果実績	-							-	-	-	-
		目標値	-							-	-	-	-
	達成度	%	-	-	-	-	-	-					
	KPI (第二階層)	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度				
		成果実績	-							-	-	-	-
		目標値	-							-	-	-	-
達成度	%	-	-	-	-	-	-						
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	健康寿命の延伸を図る上で、口腔の健康の保持・増進を図るために歯科健診の実施はきわめて重要であることから、その推進を図るため国費を投入すべきものである。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	効果的・効率的な歯科健診の全国的な導入等を目的としており、国が実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	健康寿命の延伸を図る上で、口腔の健康の保持・増進を図るために国民が歯科健診を受診し、適切な歯科保健医療を提供することはきわめて重要であることから、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	